

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		参加団体の拡大による会員企業数の増加							
指標	指標名	会員企業数						指標の種類	
	指標式	参加団体の会員企業数の和（延べ）						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a		185	200	220	240			
	実績b		185	データ等の出典					
	東北		各団体の会員名簿						
	全国								
把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月									
指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北								
	全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									
指標を設定することができない場合の効果の把握方法 指標を設定することが出来ない理由									
見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)									

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	これまで、業種・業態の枠を越えた県内企業の連携・交流の取組みが皆無に等しい状況であったため、「あきた工業団体連絡協議会」の枠組みを活用し、円滑かつ効果的に交流活動が実践できる環境づくりが必要である。
住民ニーズに照らした事業の必要性	県内企業から、業種・業態の枠を越えて共通する課題に取り組むことができる環境を組織的に整備することが望まれている。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの 各工業団体が全県規模の団体であることから、県が対応することが必要。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 其他